

令和3年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・書道Ⅱでは既習の書道Ⅰをさらに深め、個々の表現を追求していきます。篆隸行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力性を理解して使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
- ・用具・用材の準備や管理、作品、作品集の提出これらに留意してください。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感じ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ワークシート 作品集	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書(篆書・隸書・草書・篆刻)	<b>【篆書】</b> ・泰山刻石 <b>【隸書】</b> ・曹全碑 ・篆書・隸書創作(色紙) <b>【草書】</b> ・十七帖 草書創作(一字書)	○	○	○	○	a: 篆書、隸書、草書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
2学期	漢字の書(行書・楷書)	<b>【行書】</b> ・集王聖教序 <b>【楷書】</b> ・始平公造像記 ・篆刻(七分・朱文)	○	○	○	○	a: 行書・楷書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 古典の書美とその表現技法を理解している。  a: 創る喜びと使う喜びをイメージする。 b: 創ったものをどのように使うか考える。 c: 配字や刻法を理解し、実践する。1年次の「白文」との相違点も理解する。 d: 文字を書くことに加え、多面的な自己表現であることを理解する。	観察 ワークシート 作品集 作品提出

